

# TVR-2ULL / TVR-2ULLR



## ハードウェアインストールガイド

株式会社ディーグラット

2016年2月



## おことわり

\*本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載あるいは複製することは、固く禁じられています。

\*本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。

\*本書の内容は、改良のため、将来予告なく変更することがあります。

\*本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一わかりにくい点や記載もれ等、お気づきの点がございましたらご連絡下さい。

\*本製品を使用したことによるお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。

このマニュアルは、マニュアル作成時のハードウェア、およびソフトウェア情報に基づき構成されています。その後、ハードウェア、およびソフトウェアの改良などによる変更により、本マニュアルの内容が実際と異なる場合がありますのでご了承下さい。



## 安全上のご注意

本製品は精密電子部品で構成されております。

また、火災・ケガ・感電などの事故の原因にもなりますので、分解や改造は行わないで下さい。

本製品は停電復旧後に自動的に電源が再投入されますが、停電発生時のデータ及び機器障害を保証するものではありません。

事前に停電など予定が明らかな場合には、本製品の停止をお勧めします。

本製品のすき間から内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだりしないで下さい。

## もくじ

第1章	はじめに	2
第1節	このマニュアルの対象読者	2
第2節	このマニュアルの構成	2
第2章	録画サーバー本体	3
第1節	設置に関するご注意	3
第2節	機器前面	3
第3節	機器背面	4
第3章	ネットワークの設定	6

---

## 第1章：はじめに

### 第1節：このマニュアルの対象読者

このマニュアルは、ROBO-TV Rをハードウェア機器との接続方法に関して解説しており、次のような読者を対象としています。

- \* 初期インストール担当者
- \* ROBO-TV R導入後の管理者

### 第2節：このマニュアルの構成

\* 第2章「録画サーバー本体」では、録画サーバー本体の各種端子、スイッチの解説をします。

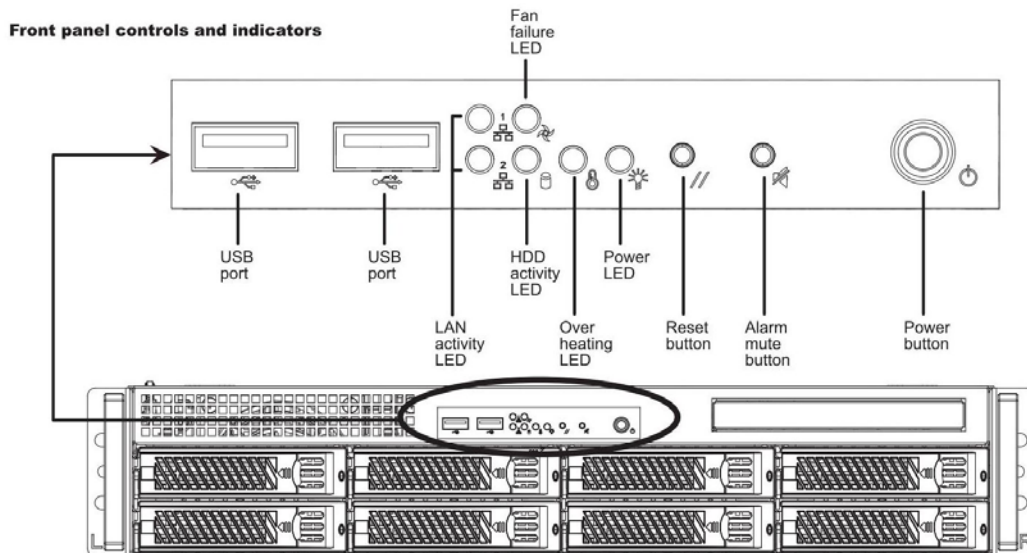
\* 第3章「ネットワーク設定」では、録画サーバーのIPアドレスの設定方法を解説しています。

## 第2章：録画サーバー本体

### 第1節：設置に関するご注意

- ①本製品はサーバールームのラックマウントに設置することを前提としています。
- ②ラックマウントに取付ける時には、本製品専用のレール（オプション）をご利用下さい。
- ③本製品は機器前面から吸気・機器背面への排気を行っておりますので、機器前後に十分なスペースを確保してください。

### 第2節：機器前面



#### USB port：

本製品の USB ポートは USB-Hub 仕様となっています。

従いまして、前面 USB ポートには起動デバイスや、キーボードによる BIOS 設定は行えません。（OS 起動後に使用可能となります。）

#### LAN activity LED（緑）：

上が LAN-1（本機背面の左側）を、下が LAN-2（本機背面の右側）のアクセス状態を示します。

#### FAN failure LED（赤）：

本機の内蔵ファンにて回転停止が発生した場合に点灯します。

---

(点灯と同時に「ビ.....ビ.....」音が発生します。)

**HDD activity LED (赤) :**

本機の HDD へのアクセス状態を示します。

**Over heating LED (赤) :**

以下の条件で点灯すると同時に「ビビ.....ビビ.....」音が発生します。

- ①ケース内の HDD 温度センサーが 58℃に達した時 (54℃まで低下時に解除)
- ②本機内蔵ファンの通過温度が 48℃に達した時 (44℃まで低下時に解除)

**Power LED (緑) :**

本機の通電状態を示します。

**Reset button :**

本機のシステムリセットを行います。(通常は使用しないでください。)

**Alarm mute Button :**

「FAN failure」及び「 Over heating」の警告音を OFF にします。

**Power Button :**

本機の電源 ON/OFF を行います。

**第3節 : 機器背面**



**①AC 電源入力**

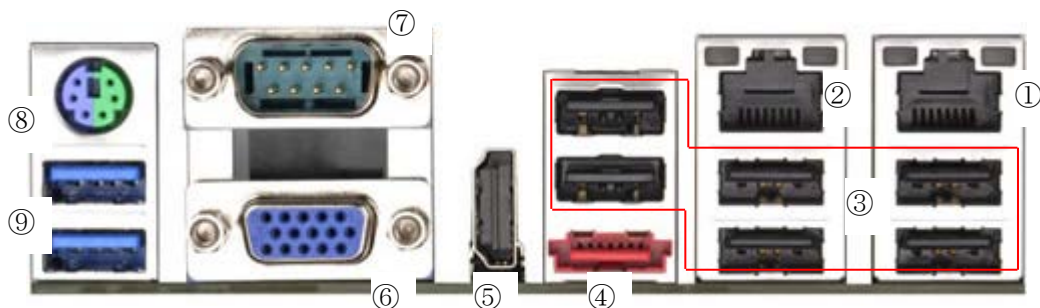
本製品付属の AC 電源ケーブルを接続します。

## ②電源ユニット・スイッチ

電源ユニットの電源 ON/OFF スイッチです。  
なお、本製品は電源通電と同時に稼動を開始します。

## ③IO ポート

モニター用端子などが配置されています。  
詳細は次ページ資料をご参照ください。



### ①LAN-2 ポート

10/100/1000Mbps 対応の LAN 端子です。  
出荷時には「192.168.10.101」が設定されています。

### ②LAN-1 ポート

10/100/1000Mbps 対応の LAN 端子です。  
出荷時には「192.168.0.101」が設定されています。

#### ご注意：

LAN-1 と LAN-2 は必ず異なるセグメントに設定して下さい。

### ③USB2.0 ポート (6 個)

本製品では使用しません。

### ④eSATA ポート

本製品では使用しません。

### ⑤HDMI ポート



本製品では使用しません。

⑥VGA ポート

メンテナンス時に PC モニターを接続します。

⑦RS232C ポート

本製品では使用しません。

⑧マウス・ キーボード用ポート

メンテナンス時にキーボードを接続します。

⑨USB3.0 ポート ( 2 個 )

本製品では使用しません。

### 第3章：ネットワーク設定

以下の設定は、本製品の LAN-1(eth0)のみに有効となります。

TVR-2UDX の LAN-2(eth1)の設定につきましては『本部コマンダー』など弊社専用クライアントソフトが必要となります。

- ①本製品にモニター、キーボード、LAN ケーブルを取付けます。
- ②本製品の電源を ON します。
- ③OS 起動後に root/991992 でログインします。
- ④「ipcfg」を入力し「Enter」を押下すると、下記の画面となります。

```
-----  
IP-ADDR:192.168.0.101 _
```

- ⑤15 秒以内に、本製品に設定する IP アドレス（下図赤丸部）を入力し「ENTER」キーを押下します。（数字は 10 キーでは無く、キーボードの本体部分のご利用をお勧めします。）

```
-----  
IP-ADDR:192.168.0.101 192.168.100.201 [ENTER]
```

- ⑥引続き、サブネットマスク及びゲートウェイの値を入力します。  
(空 Enter を入力すると既存値が継承されます。)

```
-----  
IP-ADDR:192.168.0.101 192.168.100.201  
NETMASK:255.255.255.0 [ENTER]  
GATEWAY:192.168.0.1 192.168.100.1 [ENTER]
```

上記の例では、サブネットマスクは「255.255.255.0」のまま継承され、ゲートウェイは「192.168.100.1」に変更されます。

⑥設定値が表示されますので、正しければ「1」の「SAVE」を、入力を取り消す場合には「2」の「Cancel」を、再入力を行う場合には「3」の「Re-enter」を入力します。

```
-----  
IP-ADDR: 192.168.100.201  
NETMASK: 255.255.255.0  
NETADDR: 192.168.100.0  
BRDCAST: 192.168.100.255  
GATEWAY: 192.168.100.1  
Save (1)  Cancel (2)  Re-enter (3)  ?    ENTER
```

「1」、「2」、「3」  
のいずれか

⑦「1」の「Save」を選択した場合、下図の画面で「1」の「Reboot（再起動）」を選択します。再起動後に設定を行った IP 環境が有効になります。

```
Reboot(1)  End(2)  ?
```

**ご注意：**

本項目の設定は、本製品の「LAN-1」にのみ有効です。

本製品の「LAN-2」及び DNS の設定につきましては、弊社専用クライアントソフト「本部コマンダー」または「TVC-200」の「ネットワーク設定」での作業が必要になります。